令和元年度 第3回 鹿児島支部評議会の概要報告

開催日時	令和元年10月30日(水) 10:00~11:30
開催場所	鹿児島中央ビルディング 会議室
出席議員	伊藤議員<議長>、猪鹿月評議員、岩重評議員、澤津川評議員、中村評議員、松元評議員(五十音順)
議題	<p>1. 令和2年度保険料率について</p> <p>2. 令和2年度支部保険者機能強化予算(案)について</p> <p>3. 医療費分析結果について</p>
議事概要 (主な意見等)	<p>1. 令和2年度保険料率について</p> <p>資料1-1、資料1-2に沿って事務局より説明。</p> <p>《主な意見と回答》</p> <p>(被保険者代表) 令和2年度以降は激変緩和措置が適用されないとのことだが、鹿児島支部は影響あるのか。</p> <p>(事務局) 激変緩和措置が適用された要因は、支部間の格差が大きかったため。鹿児島支部の保険料率は平均より高いため、激変緩和措置が適用されなくなると、保険料率はプラスされるため、鹿児島支部にとってマイナスの影響がある。</p> <p>(被保険者代表) そうであれば、鹿児島支部においては、激変緩和措置を継続するか、もしくはそれに代わる方法を要望したほうがいいのではないかと。</p> <p>(議長) 激変緩和措置の継続には、政令の変更が必要となるが、評議会としての意見書は提出したほうが良いと思うので、今の内容を意見としてまとめるということで整理したい。</p> <p>(学識経験者) 台風等で被災された方の医療費は、鹿児島支部の保険料率に影響するのか。</p> <p>(事務局) 東日本大震災等は、全体で按分する措置がとられました。今回も、場合によってはそのような対応がとられれば、影響がある可能性はあります。</p>

2. 令和2年度支部保険者機能強化予算（案）について

資料2に沿って事務局より説明。

《主な意見と回答》

（被保険者代表）

事業者健診結果データ取得はどれくらい提供され、どう活かされているのか。
継続の事業については、前年の予算・支出を示してほしい。

（事務局）

前年の予算等については改めて提供いたします。

平成30年度は1.1万データの提供があった。

データを提供してもらうことで、提供のあったデータから、重症化リスクのある方や生活習慣の改善が必要な方へ、案内が実施できている。提供いただいたデータの中で、健康企業宣言をしている事業所については、保健師が訪問し、特定保健指導まで結びつけることができている。それ以外についても、事業主の協力と従業員の同意が取得でき次第重症化対策等実施ができている。

3. 医療費分析結果について

資料3、別添1～5に沿って事務局より説明。

《主な意見と回答》

（学識経験者）

急性副鼻腔炎と診断され、抗菌薬を処方された例がある。患者は処方されたら、疑わず飲むが、身体によくないとされているにも関わらず、なぜ医療機関は抗菌薬を処方するのか。地域差についてだが、他保険者でも同等の調査が行われているのか。また、地域の医療機関や薬局に原因があるのか。

（事務局）

上気道炎の中でも、風邪については、抗菌薬を処方しないことが推奨されている。今回の急性副鼻腔炎では、成人であれば中等症や重症の場合は抗菌薬の検討を推奨されているため、問題はないかと思う。他保険者で同等の調査が行われているかは、現状では把握していない。

（事業主代表）

糖尿病や人工透析について、県単位で差があるが、それはずっと改善されていないのか。変化はあるのか。受診率等は景気に左右されるのか、また地域でも違うのか。

(事務局)

鹿児島県における糖尿病の現状は、10 年以上前から同じ傾向となっており、糖尿病になる人たちの割合はこれから少しずつ減っていくだろうと聞いている。しかし、問題はすでに糖尿病を患っている方が重症化すること。治療せず放置している場合等があり、それを県全体でどうするかということが課題。人工透析患者を増やさないため、県・市町村・行政・保険者・医師会合わせて話し合っている。

景気との関連については、今回の分析対象とはなっていないが、専門医が少ない支部では、透析者の割合がやや高い可能性がある状態ではあった。

(学識経験者)

全国的に所得や景気動向と関連付けた調査は行われているのか。

(事務局)

現状では把握できていない。

特 記 事 項

次回 11 月開催予定。